

安全データシート

ページ: 1/9

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 19. 03. 2024

製品: Epotal® BLX 3654

バージョン: 10.1

(30751064/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Epotal® BLX 3654

用途: 原材料

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づくポリマー: カルボン酸, 不飽和, 変性体

溶液:

内容物: 架橋剤成分

GHS分類に寄与する成分

トリス (2-ヒドロキシエチル) マレイン酸水素アンモニウム

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 3\%$

皮膚感作性: 区分 1

CAS番号: 41397-50-6

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場合に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 有害性は予想されない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 泡, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:
有害性は特になし。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
データなし。

[追加情報]:
汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:
排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する（例: 砂、おが屑、珪藻土）。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
大量の場合: ポンプで容器に回収する。
残渣の場合: 水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]
労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。

[保管]

適切な包装容器材料: ステンレス鋼 1.4401, ステンレス鋼 1.4301, ガラス繊維強化プラスチック (GRP), 高密度ポリエチレン (HDPE), 低密度ポリエチレン (LDPE), 焼き付け, ガラス
保管条件に関する追加情報: 凍結しないように保護して保管すること。

次の温度以下にならないように保護すること: 5 °C
次の温度以上にならないように保護すること: 60 °C

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

補足: 仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため (温度など)、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

[一般的な安全及び衛生対策]:

休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。皮膚および眼との接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	淡黄色
臭い:	かすかな臭い
臭いのしきい値:	測定されていない。
pH:	3.0 – 4.0 (水, 10 % (m)) (DIN ISO 976)
凝固点:	約 -5 °C
沸点:	約 100 °C
記載物質に関する情報:	水
沸点:	100 °C

引火点:	> 100 °C 適用せず
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。
可燃性 (固体/ガス):	引火性ではない。
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 19. 03. 2024
製品: Epotal® BLX 3654

バージョン: 10.1

(30751064/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

自然発火温度:

適用せず

熱分解:

正しく使用すれば、分解しない。

自己発火性:

自己発火性なし。

爆発危険有害事項:

爆発性なし。

火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。

記載物質に関する情報: 水

蒸気圧: 23.4 hPa

(20 ° C)

文献データ

密度:

1.21 g/cm³

(ISO 2811-1)

(20 ° C)

1.20 g/cm³

(15 ° C)

1.18 g/cm³

(50 ° C)

1.19 g/cm³

(35 ° C)

相対密度:

データなし。

相対ガス密度 (空気):

適用せず

水に対する溶解性:

可溶

水混合性:

混合可

n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow):

適用せず

粘度:

900 – 2,500 mPa·s

(DIN EN ISO 2555 (LV))

(23 ° C)

固形分:

48.0 – 52.0 %

(DIN EN ISO 3251)

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

極限温度を避けること。

熱分解:

正しく使用すれば、分解しない。

[混触危険物質]:

避けるべき物質はなし。

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の手扱い条件下で危険反応なし。

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。

症状

(他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験または計算によるデータ:
マウス: 感作性なし (OECDテストガイドライン 429)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
細菌類に対して変異原性を示さなかった。

発がん性

発がん性の評価:
評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
生殖毒性を起こさないと考えられる（組成に基づく）。

発生毒性

催奇形性の評価:
発生毒性について、この物質の効果に関する評価の有効なデータは、適切な評価に充分ではない。

その他該当する毒性情報

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度）(96 h) > 100 mg/l, ゼブラフィッシュ（学名: Brachydanio rerio）(OECDテストガイドライン203、ISO 7346、84/449/EEC, C., 止水式)

水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ（学名: Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

EC100（100%影響濃度）(48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ（学名: Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

EC0（effect concentration 0: 無影響濃度）(48 h) > 100 mg/l, オオミジンコ（学名: Daphnia magna）(OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

水生植物:
EC50 (72 h) > 100 mg/l (成長率), 緑藻（学名: Desmodesmus subspicatus）(OECDテストガイドライン 201, 止水式)

移動性

環境区分間の輸送評価:
データなし。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
製品は未試験である。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 19. 03. 2024
製品: Epotal® BLX 3654

バージョン: 10.1

(30751064/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。廃棄および浄水処理に関する国内の法令に準拠すること。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

欧州廃棄物リスト (European waste catalog : EWC) による廃棄物コードを指定することは不可能である。使用法により廃棄物コードは異なる。

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 19. 03. 2024
製品: Epotal® BLX 3654

バージョン: 10.1

(30751064/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

ない		transport regulations	
国連番号もしくはID番号:	非該当	UN number or ID number:	Not applicable
品名（国連輸送名）:	非該当	UN proper shipping name:	Not applicable
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物

アクリル酸・マレイン酸共重合物とトリエタノールアミンのオニウム塩
化審法
優先評価化学物質
40 - 50 %

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。